

まちづくりビジョン三良坂

【改訂版】

キラリみらさか 素敵なまちへ
～幸せと平和な暮らしを求めて～



三良坂町自治振興区連絡協議会

はじめに

平成 16 年 4 月、市町村合併により新三次市が誕生しました。同時に住民自治組織として、三良坂町内 10 の単位自治振興区により「三良坂町自治振興区連絡協議会」が発足しました。

平成 18 年 3 月には、地域の将来像やまちづくりの方向性をまとめたまちづくりビジョン「キラリみらさか 素敵なまちへー幸せと平和な暮らしを求めてー」を策定しました。

策定後 10 数年が経過をする中、できたこと、できなかったことが多々あります。私たちを取り巻く情勢も大きく変化をしています。

そこで、これまでのまちづくりビジョンを検証しつつ、現状を踏まえながら見直すこととしました。

三良坂町の現状と課題

01

人口減少と少子高齢化

三良坂町の人口は 3,156 人（平成 31 年 4 月 1 日住民基本台帳）で、10 年前と比べると 595 人（15.8%）減少しています。高齢化率（65 歳以上の比率）は 38.1%で、10 年前より 6 ポイント上昇しています。また、80 歳以上の一人暮らし世帯は 157 世帯（11.3%）、85 歳以上の二人暮らし世帯は 58 世帯（4.2%）といずれも増加しています。

一方では、土地区画整理事業地における住宅建築等により、近年は人口減少率が鈍化しています。また、15 歳未満の人口も回復が見られます。

今後も住宅誘致や空家の利活用等で定住促進を図る必要があります。



02

地域コミュニティ

町内には 10 の自治振興区と 96 の常会があります。そのうち 10 世帯未満の常会は 39 にも及びます。常会に入らない世帯や脱会する世帯、高齢世帯の増加に加え、常会がもつ機能も変化しています。また、各種役員の選任に苦勞する地域も増えています。

高齢世帯が増加する中で、地域で支えあう仕組みづくりが大切となります。また、近年自然災害が頻発する中で、防災の観点からも日ごろの地域コミュニティが重要な要素です。

持続可能な地域とするため、新しいコミュニティのあり方を検討する必要があります。

03

子育て・教育・人づくり

平成27年4月に町内3小学校が統合し、一体型の小中一貫教育校「みらさか学園」が誕生しました。町内唯一の学校として地域で支え、地域とのつながりを強めなければなりません。また、子どもが地域行事に参画することにより世代間の交流を深め、地域における教育力の向上を図る必要があります。

現在各コミュニティセンターをはじめ町内各地で文化活動等が実施されています。中には参加者の高齢化や固定化が見られます。幅広く参加できる仕組みづくりが必要です。



04

産 業

高齢化により農地を法人や大型・中核農家に預ける農家が増えています。耕作放棄地を増やさないために担い手の確保等維持をしていく工夫が必要です。また、イノシシなどの鳥獣害も増えています。農作物への直接被害はもちろん農家の耕作意欲の減退にもつながり、抜本的な対策が必要です。

手入れができない山林や竹林も目立ちます。美しい里山や田園風景は地域の魅力でもあり大切な資源です。

商業では、高齢化や後継者不足により閉店が見られる一方、空き店舗を活用した起業もみられます。また、商店街コミュニティ広場に公衆トイレが設置される等環境が整いつつあります。加えて食のまちのイメージが定着しつつあります。イベントや情報発信などさらなる工夫を行い、賑わいを取り戻す必要があります。

05

定住と交流

みらさか土地区画整理事業が完了し、下郷地区にはすでに50戸を超える家が建っています。子どもや若い人も増え活気があります。しかし、コミュニティが形成されていなく、今後は新しい観点でのコミュニティづくりが必要です。

空家も増えています。三次市の空家バンク登録もあり、空家への移住者もありますが、引き続き所有者の意向確認や移住希望者の把握、斡旋を進めなければなりません。

三良坂町には出雲大社備後分院や三良坂平和美術館、灰塚ダム等町外から集客する施設があります。これらの来訪客が町内や市内を巡る仕組みづくりを三次市と連携をして進めていく必要があります。



区画整理用地

まちづくりの基本目標と期間

まちづくりの基本目標は、第1次まちづくりビジョンを継承し「キラリみらさか 素敵なまちへ 一幸せと平和な暮らしを求めて」とします。幸せを実感し、平和な暮らしをしたいとの思いは誰しも持つものです。まちづくりの主役は住民一人ひとりです。人もまちもキラリと輝いている、そんな素敵なまちを目指します。目標期間は令和12年までの10年とします。

まちづくりの基本活動

1 安全で安心して暮らせるまちづくり

隣近所で助け合いながら人々とつながりを持ち、みんなが安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

①声かけ運動による子どもや高齢者の見守り

町内各振興区や関係団体が協力をし、地域の子どもの高齢者に声かけをして見守ります。何かあったときにはすぐ対応できるようネットワークを構築します。

②自主防災組織の拡充と防災意識の向上

災害時には機能が発揮できるよう自主防災組織の充実を図るとともに、日常的な活動により住民の防災意識を深めます。



仁賀防災訓練

③常会の再編や地域コミュニティの維持

小常会の再編を含み、これからの地域コミュニティのあり方を検討し、持続可能な組織を目指します。

④交通安全の推進と地域生活交通の確保

交通安全対策を進めるとともに、地域生活交通を確保するため、デマンドバスをはじめ公共交通機関の利用促進を図ります。

2 健康でいきいきと暮らせるまちづくり

日常的な運動や人々と会話をすることにより、みんなが健康でいきいきと暮らせるまちづくりを進めます。

①年齢にあわせた体力づくりの推進

体操やグラウンドゴルフをはじめ日常的にできるスポーツを推進し、住民の健康づくりと交流の場づくりを進めます。

②介護予防や認知症予防の推進

各関係機関と連携し、講習会や交流会を通して介護予防や認知症予防の推進を図ります。

③地域サロンの拡充

現在行われている各地のサロンを通してコミュニティづくりを進めます。また、その輪を全域に広げる取り組みを行います。



グラウンドゴルフ

3

人を育み人が輝くまちづくり

子どもから高齢者まで、各世代が交流し連携することでそれぞれが輝けるまちづくりを進めます。

①学校と連携をした地域の教育力の向上

沖江田楽や菊づくりなどを通して子どもとの交流を深め、学校と連携をして地域で子どもを育てます。

②平和文化活動の推進と情報発信

平和のつどいの充実を図るとともに、三良坂平和美術館などの取り組みを通して平和文化活動の情報を内外に発信します。



平和のつどい

③生涯学習の活動の場と発表の場づくり

町内各地で取り組まれている文化・学習活動等への参加機会を増やすとともに、文化祭等での発表の場づくりを進めます。

④若者や女性の活動の場づくりと地域リーダーの育成

若者世代や女性の組織的な活動の場をつくり、次代を担う地域リーダーの育成を図ります。

⑤三良坂町自治振興区連絡協議会の組織拡充

町内10の自治振興区の横断的な連携を深め、連合組織としての強化を図ります。

4

元気な産業のまちづくり

農業生産活動により農地を守り、美しい農村景観が保たれるまちづくりを進めます。

商店街が賑わい、人々が往来する活気あるまちづくりを進めます。

①農業の担い手の確保と耕作放棄地の拡大防止

農業従事者の高齢化が進む中、農業の担い手を確保するとともに、耕作放棄地拡大の防止を進め、農村景観を保ちます。

②集落ぐるみでの鳥獣害対策

有害鳥獣から農作物を守るため、集落ぐるみで鳥獣害対策を進めます。

③適地適産による特産品づくり

農家と農業関係団体が連携をして適地適産の推進や特色ある産品づくりを進めます。また、農産物直売所を充実させ、地産地消の拡大を図ります。



④食のまちのイメージアップと情報発信

「三良坂町は食のまち」のイメージが広がっています。新たな産品の開発と情報発信を行い、さらなるイメージアップを図ります。

⑤空き店舗活用や起業の支援

空き店舗を活用しそこで起業したい人の支援を行います。

⑥商店街の賑わいづくり

空き店舗の活用、イベント、町並みや各店舗の工夫などにより商店街の賑わいづくりを進めます。



三良坂祇園まつり

5

地域資源を活かした魅力あるまちづくり

地域資源を活かし、自分の住んでいる地域が誇りに思える魅力あるまちづくりを進めます。

①伝統文化の継承と後継者の確保

沖江田楽をはじめ、地域特有の芸能や文化の継承を図るとともに、後継者の育成を進めます。

②桜並木の保全と活用

河川堤防沿いの桜並木等の保全活動を進め、その景観を活かした魅力を発信します。

③灰塚ダム周辺の活用と景観保持

ハイヅカ湖畔の森をはじめ、灰塚ダム周辺の活用を図ります。また、サクラやモミジの育成・保全を図り、ダム周辺の魅力ある景観をつくります。



灰塚ダム

④地域の自慢づくり

各地域の自慢づくりや発掘を行い、誇りに思える地域づくりを行います。

⑤地域の魅力を発信した定住促進

地域の魅力を発信し、住みたいまち、住んでみたいまちと思える地域づくりを行い、定住促進を進めます。

まとめ

今回のまちづくりビジョンは基本的な活動として決めました。大切なことはどのように実行していくかということです。誰かがやってくれるだろうではまちづくりは進みません。一人ひとりが自分のできるところでまちづくりに参画することが重要です。

これから各地域や各団体の話し合いで実行計画を定めます。みんなで協力し合い「キラリと光る素敵なまち」にしていきましょう。

2020年（令和2年）3月



三良坂町自治振興区連絡協議会

〒729-4304 広島県三次市三良坂町三良坂2825番地
電話・FAX 0824 (44) 2749

みらさか

作詞・作曲 高石ともや

1. 人は悲しみ 川に流して
山に抱かれて 暮らすのですね
どこへ急ぐの 雪どけの水
昔話を 聞かせておくれ
花びら流れ まちは春です
君がいて 野の花咲いて
いいまちさ みらさか
2. まちを横切る 車の流れ
青いさと山 わきたつ白い雲
見えない明日を 信じてみたい
祭り囃しを 遠く聞きながら
心燃やせば まちは夏です
君がいて 野の花咲いて
いいまちさ みらさか
3. ここで生まれて ここに育って
ここで愛して あなたが生まれて
一緒に泣いたね 一緒に笑ったね
やがてはここで 眠るのですね
めぐる季節の やさしいまちです
君がいて 野の花咲いて
いいまちさ みらさか